

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度第1回入間市児童センター運営委員会
開 催 日 時	令和6年7月26日(金) 午後2時00分開会 ・ 3時20分閉会
開 催 場 所	入間市児童センター 集会室
議 長 氏 名	関田 恵一 委員長
出席委員(者)氏名	関田恵一委員長 吉野正昭副委員長 生田由紀子委員 菱 さより委員 村川関子委員
欠席委員(者)氏名	竹野谷久江委員 中平貴美子委員 佐々木佳菜委員
説明者の職氏名	青少年課 主査 小野貴大 指定管理者 (株)コマーム
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委員長挨拶 3 議事 (1) 入間市児童センター運営委員会の年間開催回数について (2) 令和5年度入間市児童センター事業報告について 4 閉会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 令和6年度第1回入間市児童センター運営委員会次第 2 入間市児童センター運営委員会委員名簿 3 入間市児童センター運営委員会 の年間開催回数について(資料1) 4 令和6年度入間市児童センター要覧
事務局職員職氏名	こども支援部部長 齋藤 忠士 青少年課課長 宮岡 弘 青少年課主査 小野 貴大 青少年課主事補 田畑 芹菜 (株)コマーム代表取締役社長 小松 秀人 (株)コマーム第2事業部長 笹野 晋助 (株)コマーム第2事業部課長 小田 健一 (株)コマーム第2事業部児童育成事業児童クラブリーダー 望月 梨花 児童センター所長 吉野 勝
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

第1回入間市児童センター運営委員会

- 1 議事として事務局より以下3点について説明した。
 - (1) 入間市児童センター運営委員会の年間開催回数について
 - (2) 令和5年度入間市児童センター事業報告について

2

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
宮岡課長	1 開会
関田委員長	2 委員長挨拶
	3 議事
関田委員長	本日は5名の委員に出席していただいているので、会議は成立する。 また、会議の公開が原則になっており、今回の議題をみても公開すること とで著しい支障が生じることは予想されないことから、公開することと したいがよいか。
一同	(異議なし)
関田委員長	特に皆さんからなければ公開するということで進める。 次に、傍聴される方はあるのか。
田畑主事補	本日は傍聴の希望はない。
関田委員長	会議録の署名について、私のほか1名を指名させていただく。名簿順 に行い、今回は生田委員にお願いしたい。 それでは、議事に入る。 はじめに(1)入間市児童センター運営委員会の年間開催回数について、説明願いたい。
小野主査	(1)入間市児童センター運営委員会の年間開催回数について説明
関田委員長	質問等あれば願います。
吉野副委員長	2月と7月どちらの方が政策に活かせるのか。時期的にはどちらの方が 良いのか。
小野主査	翌年の予算に反映させるなどを考えると7月の方が良い。児童センタ ーが忙しい時期もあるのでその辺りは調整が必要と考える。
吉野副委員長	それであれば7月は対面形式でやるのが良い。
生田委員	年に2回であれば児童センターに足を運ぶ機会でもあるので、2回対 面形式でも良い。
村川委員	顔を合わせて意見を交わすことでいい意見になると思っている。各自

発 言 者	発 言 内 容
菱委員	文面で行うとわからない部分も多く、いい意見とならない。大変だからということではなく2回対面形式での開催で良いと思う。 2回であれば足を運ばせていただきたい。特に7月は学校が長期休暇に入る。こどもたちの様子を見るいい機会にもなる。2月は開校日なのでこどもたちはいないとは思いますが、小さいこどもを持つ方が来られて、児童センターの役割や必要性がより明確になるかと思うので、対面形式での開催2回で良いのではないかな。
コマーチム	他の自治体でも児童館の指定管理を行っているが、年に2回運営委員会を開催しているのは入間市だけ。それだけ地域の方が入間市児童センターに関わっておりありがたいことである。他の自治体で運営委員会が無いところはコマーチムが主体となって懇話会を開いているところがある。運営委員に選定された方だけでなく、自治会の方、ボランティアの方、行政の方、地域の方を呼んで1つテーマを決めて行っている。多いと20名30名の方にお越しいただいている。会議形式ではなくグループワーク形式でセンターの運営方法だとか課題を話し合っていていただく。これを1時間30分行う。1つは行政主体の運営委員会、もう1つはもう少し自由な意見交換ができる場というような形で検討してはどうか。
関田委員長 小野主査	新しい視点からの意見で、このような形での開催は可能か。 運営委員会は条例や規則に従い開催しているので、すぐこの場で回答するのは難しい。会議の開催方法についてはいまご意見をいただき大変参考になった。今年度は2月も運営委員会を開催するのでその際にお答えさせていただきたい。
関田委員長	次年度に向けて会議の開催方法については規則等との整合性を事務局にお任せするということによろしいか。
小野主査	対面形式で2回というご意見が多かったので採用したい。
関田委員長	今までの形式であれば対面形式2回で良い。コマーチムからご意見があった点も踏まえ、もう少し広げながら柔軟にご検討をお願いしたい。

発 言 者	発 言 内 容
関田委員長	それでは続いて、(2)令和5年度入間市児童センター事業報告について、説明を願う。
コマーチム	(2) 令和5年度入間市児童センター事業報告について説明
関田委員長	質問等あればお願いする。
菱委員	こどもたちが楽しそうで、多岐に渡って興味関心が湧くような、満足するような取り組みや事業が多く感心した。学校や家庭は同世代や年の離れた人とのタテの関係が強くなりがちだが、高校生、中学生、小さい子と関わることでナナメの関係ができて、こどもたちが居やすい場所、安心できる場所になっていると感じる。
村川委員	プレーカーを整備して出張児童館を行うなど、入間市は児童館が1つしかないので、児童センターから離れた場所に住むこどもたちのためにプレーカーを整備して良かったと感じる。毎年出張児童館を実施することでこどもたちにも定着してきたように感じる。
生田委員	子ども会が少なくなっているが、子ども会との連携は。
コマーチム	現状はない。もしそういう要望があればお応えしたい。
生田委員	学校からは要望があって出張児童館を行っている状況か。
コマーチム	児童センターから出張児童館を学校で実施したいとお願いしている。いずれは、地域、子ども会との連携も考えていければと思う。
吉野副委員長	地域のこどもと話をする機会があるが、児童センターから離れているこどもたちから児童センターに遊びに行きたい、こども運営ボランティアをやりたいがどうしたらいいかという声を聞く。児童センターは学校や家とは違う居場所という形でこどもたちはすごく楽しみにしている。Instagramも充実しているが、さらに色々な方法でPRをお願いしたい。
関田委員長	こども運営ボランティアの周知方法や人員の選定方法、事業の運営についてどれくらい意見を反映しているのか教えていただきたい。
コマーチム	毎年度募集を行っている。年度当初センターだよりに掲載し市内小学

発 言 者	発 言 内 容
	校に配布して募集を行っている。対象は小学生。定員は設けているが応募した子は全員受け付けていて、今年は 30 人くらいのボランティアがいる。継続の子もいて中学生になってからも入っていたいという子もいる。募集期間後に入りたいという子は、正式なボランティアではなくお手伝いのような形で参加している。運営に関しては、毎回会議ではないが、毎月 1 回集まりがある。やりたいことを年度当初の集まりで挙げる。その中で今年はこれをやるというのを決める。運営ボランティアという名前は初代ボランティアの子たちが考えた名前。
関田委員長	他の児童館を指定管理する中で、こども運営ボランティアのような事例があれば教えていただきたい。
コマーチム	他の児童館でも同じような事例がある。こどもたちの計画で事業を実施しており、このような活動は大事だと考えている。
村川委員	こどもたちだけのプラネタリウムの発表や、色々な展開を行っていたいている。継続をお願いしたい。
コマーチム	小さい頃に児童センターに来館されていた方が夏休みになって、自分の子供を連れて、里帰りされて児童センターに来館したりすると、昔設置されていたウルトラトレーナーはないのかと問い合わせがよくある。他にもトランポリンはないのかという話はよく出る。
関田委員長	昔から伝統的にあるものに加え、毎年毎年新しいものを取り入れて生きた児童センターというものを感ずることができる。 以上で議事は終了となるが、他に何か意見等はあるか。 なければ、これで議長の任を解かせていただく。 ありがとうございました。
宮岡課長	次回会議は、2 月中を予定している。日程については今後委員長、副委員長、事務局で調整させていただく。委員の皆さまには追ってご連絡する。
吉野副委員長	令和 6 年度第 1 回入間市児童センター運営委員会を終了する。

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和6年8月15日	
議 長 の 署 名	関田 恵一
議長が指名した者の署名	生田 由紀子

